札幌市立高校教育改革方針の検討における論点整理

検討会議で出てきた論点

1 生徒の多様なニーズに応える学校間連携の在り方

○特色ある学科等に入学したが、その内容が合わず不適応を起こす生徒がある程度いる。
○悩みなどを抱えて学校に適応できない生徒もある程度いる。
○市立高校間であっても転学等は容易ではなく、編入学等により対応せざるを得ない。
○市立高校間での単位互換や授業連携の可能性

2 学校が取り組んでいる事業の継続実施を可能にする仕組み

○国の研究事業など、予算が確保されている間は良いが、指定が外れて予算が削られた後、事業が萎んでしまう例が多々ある。

3 主体的に地元（札幌・北海道）に貢献する人材の育成

○グローバルな視点とグローカルな視点（グローバルな視点で考え、グローカルな視点で行動する）を生徒に持たせる必要がある。
○地元企業が求める人材を育成するため、高校ではどのような教育を行うべきか。
○札幌や北海道の成長産業（観光、食、環境、健康・福祉）を担う人材の育成

4 市立高校の情報発信力の強化（広報戦略）

○市立高校の取組が生徒や保護者等に十分伝わっていない。
○高校選択の理由が、教育内容など学校の魅力ではなく、学力（偏差値）のレベルとなっている。学校の魅力で選択されるように、各校の取組等を積極的に情報発信する必要がある。
○外部と連携した学びが今後必要になる。強い連携体制を作っていくために、市立高校をもっと理解してもらう必要がある。
○市立高校全体としての情報発信が必要。
○目指す学校イメージの設定

検討ワーキンググループ会議で整理した論点

≪論点1≫ 市立高校の独自性と共通性

○市立高校の果たすべき役割、市立高校としての強み
○市立高校が目指す生徒像や育成する力の共有
○全校が共通して取り組む事業（市高スタンダード）
○地域の課題と結びつけた取組
○大学受験に必要な力の保障と将来必要となる力の獲得の両立
○新たな入学試験制度
○生徒の学習意欲を高める取組

≪論点2≫ 生徒の多様なニーズに応える特色ある教育

○生徒のニーズに柔軟に対応する学校間連携・授業連携
○授業連携による他校生徒との学び合い
○多くの体験を積ませる特色ある教育プログラム
○学びへの興味関心を引き出す魅力ある施設設備
○不適応状態からの救済や新たな段階へのステップアップなど、再スタートを支援する学校間連携や履修システム
○特色ある教育を継続して実施する仕組み
○学校の活動を支援する仕組み
○教師力向上のための校内外の研修体制

≪論点3≫ 札幌の地域資源を生かした教育の展開

○地域の魅力や課題をテーマとする学習を通じた地域意識の醸成
○地域や企業、行政と連携した教育プログラム

≪論点4≫ 情報発信力の強化（広報戦略）

○生徒や保護者の理解促進、市立高校の取組を応援する市全体の機運醸成 （様々なメディア・機会を通じた広報活動）
○広報活動を支援する組織
○市立高校ということの認知度アップ